

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

宇都宮大学共同教育学部附属小学校

活動名：

コロナ禍における ICT
 —活用！オンライン通信校内研修—

解決すべき課題：コロナ禍により、外部の方が来校できない状態や今後の休業不安が続いている。再度、学校休業となった場合の学習の保障や、学校現場での研修や実習、研究の機会の保障に対し、早急に先生方に「できること・やれること」の実践を積み上げていかなくてはならない。そこで、関係する各部主任の協力により即実践につなげるための校内研修を充実させていく。

目標・方針：学校休業やアフターコロナ対策のため、児童の学習保障や、学校現場での研修や実習、研究の継続のための一助として、授業動画や課題の配信、同時双方向通信が活用できるよう、校内研修を推進し、実践に向かうような取組みを行う。また、大学や地域への貢献として、授業研究の成果を県内の教員及び学生に提供することで、地域の授業力向上に資するような取組みを行う。

活動内容：

- ① iPad アプリ等の活用研修（導入アプリを実際に体験してみて、授業での活用を考える）（写真1）
- ② 学校休業中に iPad で授業動画を作成し、PTA と学校ホームページで配信する実践研修（図1）
- ③ 同時双方向授業の教科別実験研修（算数・社会・音楽）（写真2）
- ④ 研究授業のオンライン配信研修（教育実習生の研究授業をオンライン配信し、大学生が実践演習として教科を選択し、参観する。大学の先生は、直接参観できない方がオンライン参観をする。）（写真3）

活動の成果：

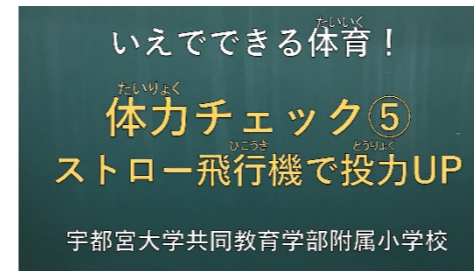
- ① ギガスクール構想により、校内のインターネット環境の整備や児童一人1台 PC の導入が進んでいることを踏まえ、校内研修でつかんだことを基に、必要性のあるアプリの選別の一助となった。
- ② 全教員が授業動画を作成・配信したり、教科の特性や授業内容を考慮して有効な配信方法を選択したりできるようになった。（図1）
- ③ 参観者が来校できなくても、学校教育の現場を有効に活用できるような配信や配信前後の計画を、それぞれのアイデアを基に企画・運営できるようになった。
- ④ 作成した授業動画を学校 HP にもアップし、県内外の先生方に使用していただけた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

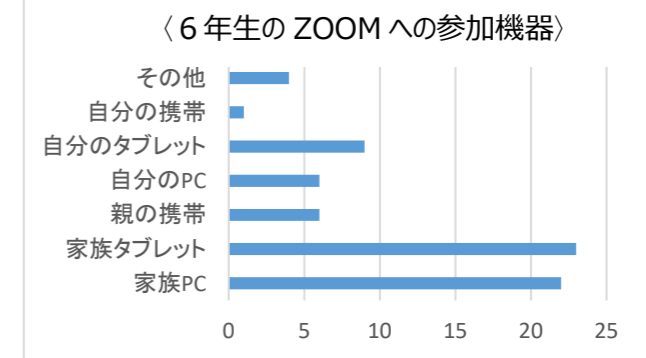
- ① 授業動画の配信や、同時双方向授業を取り入れることで、学校休業中や不登校・ケガ・病気等で長期欠席をしている児童への学習サポートが可能になる。（表1）
- ② 研究授業のオンライン配信を可能にすることで、コロナ禍でも大学生の教育実習研究授業や授業研究会に他の大学生が参加したり、教職大学院生の授業研究を教育現場を軸に進めたりすることができる。
- ③ 教員がオンライン配信の操作方法を職員研修で習得することにより、校外に向けての授業力 UP セミナー（若手教員向けセミナー）や講演会を開催する際の配信作業をスムーズに行うことができるようになる。
- ④ ギガスクール構想が進む中、ICTの活用方法や活用内容についてさまざまな可能性を広げることができる。

（図1）休業中の動画配信サムネイル

4, 5 月休業中に各教科動画 149 本



（表1）Zoom 朝の会参加機器アンケート（6年）



（写真1） iPad アプリ等の活用研修（導入アプリを実際に体験してみて、授業での活用を考える）



〈プログラミング研修〉情報部



〈プログラミング研修〉情報部



〈カリマネ研修〉研究部

（写真1） iPad アプリ活用授業 （写真2）同時双方向授業の教科別配信実験（Zoom 使用）



（写真3）研究授業のオンライン配信研修：教育実習部



教育実習生の研究授業を Zoom でオンライン配信し、大学生が実践演習として教科を選択し、参観する。大学の先生は、直接参観できない方がオンライン参観をする。iPad3 台を教室に設定し、参観者は好きなアングルで見ることができる。授業研究会では、参観者も協議に入り、意見交換や質問をすることができた。